

淀川河川公園中流左岸域 地区会議会議録

1. 枚方・三矢・伊加賀野草・出口河畔・出口・出口野草地区
2. 木屋元・太間・点野野草・仁和寺野草地区
3. 佐太西・大日地区

平成 23 年度

淀川河川公園 枚方・三矢・伊加賀野草・出口河 畔・出口・出口野草地区 地区会議 会議録

平成 23 年 10 月 19 日開催分

■地区会議とは

1. 目的

淀川河川公園の地区毎に、各公園地区の利用団体、地域住民、まちづくり団体など、様々な関係者の方々よりご意見を伺い、今後の公園の整備・維持管理に反映するため、淀川河川公園地区会議を開催しました。

2. 経緯

淀川河川公園では、淀川における自然環境や人との関わりを次世代に引き継ぐための公園づくりを目指し、「淀川河川公園基本計画」を平成 20 年に改定しました。

今後の公園づくりでは、地域に親しまれ、淀川と人とのつながりをより深めるため、地域住民、利用者、学識経験者、沿川自治体など様々な関係者が参加する「淀川河川公園地域協議会」を平成 22 年 3 月よりブロック毎に設置し、公園計画、整備及び管理の検討を進めています。

このたび、大阪府枚方市、寝屋川市及び守口市域(大日地区、佐太西地区)に位置する淀川河川公園及びその予定区域を対象とした淀川河川公園中流左岸地域協議会において、各公園地区に関する、より地域に密着したご意見を伺うため、「淀川河川公園地区会議」の開催を決定し、多様な主体に参加していただくためのメンバー候補を選定しました。

■枚方・三矢・伊加賀野草・出口河畔・出口・出口野草地区 地区会議の開催概要

淀川河川公園枚方・三矢・伊加賀野草・出口河畔・出口・出口野草地区において平成 23 年 10 月 19 日に地区会議を開催しました。当日は 20 名の利用団体、地域住民等の方々にご参加いただきました。

開催日時:平成 23 年 10 月 19 日(水) 13:30~16:30 場所:中央流域センター

プログラム

1. 開会

- ・地区会議の目的と進め方
- ・淀川河川公園基本計画の概要

2. 公園歩き

3. 意見交換

- ・グループ別意見交換
- ・各グループからの発表

4. 今後の予定等

5. 閉会



明治 18 年洪水碑

明治 18 年(1885 年)6 月 15 日から降り続いた豪雨は、17 日夜半まで続き、同日 23 時には枚方地点水位は 4.4m 以上にも達しました。支川天野川の決壊に続き、18 日午前 3 時には、三矢村・伊加賀村の堤防が決壊しました。

この破堤による浸水は、枚方市から左岸側の茨田郡一円を呑み込みながら、寝屋川堤防(通称、徳庵堤)まで迫り、全堤防が破堤の危機にさらされました。このため、6 月 21 日には、当時の野田村(現在の都島区網島)の大川(旧淀川)堤防を切り開き、「わざと切れ」といわれる洪水戻しを、河川に向けて行いました。

この記憶をとどめるため、洪水記念碑が枚方市桜町 10 番地先に建てられています。

(出典:「淀川かわあるき」)

枚方・三矢・伊加賀野草・出口河畔・出口・出口野草地区の概要

◆開設年度		◆供用面積	28.8ha
枚方地区	昭和 9 年度	枚方地区	1.9ha
三矢地区	昭和 57 年度	三矢地区	6.7ha
伊加賀野草地区	昭和 54 年度	伊加賀野草地区	0.3ha
出口河畔地区	平成 4 年度	出口河畔地区	6.7ha
出口地区	昭和 49 年度	出口地区	2.9ha
出口野草地区	昭和 59 年度	出口野草地区	
◆年間利用者数			
平成 22 年度年間利用者数			
枚方地区	588,041 人	出口河畔地区	28,642 人
三矢地区	110,644 人	出口地区	37,331 人
伊加賀野草地区	51,863 人	出口野草地区	23,866 人

■ 地区会議の参加団体

利用団体等		団体名	
		地域住民	自治体
枚方いきもの調査会	ねや川水辺クラブ	伊加賀校区コミュニティ協議会	枚方市教育委員会社会教育部
淀川愛好会	枚方市ソフトボール協会	枚二校区コミュニティ協議会	スポーツ振興課
枚方市スポーツ少年団	枚方市ラグビー連盟	まちづくりコンサルタント	枚方市 企画財政部 企画政策課
大阪府動物愛護推進員	寝屋川市自然を学ぶ会		枚方市 土木部 公園みどり課
淀川自然クラブ	枚方市テニス協会		
公益財団法人 枚方体育協会	枚方市グラウンド・ゴルフ連		
枚方市ソフトテニス連盟	合会		

■ 地区会議の流れ

1
基本的情報
の説明



2
公園歩き



3
グループ別
意見交換
(ワークショップ形式)

4
各グループ
からの
意見発表



■ 地区会議で出された意見について

枚方・三矢・伊加賀野草・出口河畔・出口・出口野草地区 地区会議では参加者の皆様から多くのご意見をいただきました。すべてのご意見について事務局で対応を検討し、次回の中流左岸地域協議会に報告します。



Aグループの意見交換の結果



Bグループの意見交換の結果



Cグループの意見交換の結果

【お問い合わせ先】

近畿地方整備局 淀川河川事務所 河川公園課
〒573-1191 大阪府枚方市新町2丁目2番10号
TEL:072-843-2861(代) FAX:072-843-0910 E-mail: yodogawa-kouen@kkcr.mlit.go.jp

平成 23 年度

淀川河川公園 木屋元・太間・点野野草・仁和寺 野草地区 地区会議 会議録

平成 23 年 12 月 11 日開催分

■地区会議とは

1. 目的

淀川河川公園の地区毎に、各公園地区の利用団体、地域住民、まちづくり団体など、様々な関係者の方々よりご意見を伺い、今後の公園の整備・維持管理に反映するため、淀川河川公園地区会議を開催しました。

2. 経緯

淀川河川公園では、淀川における自然環境や人との関わりを次世代に引き継ぐための公園づくりを目指し、「淀川河川公園基本計画」を平成 20 年に改定しました。

今後の公園づくりでは、地域に親しまれ、淀川と人とのつながりをより深めるため、地域住民、利用者、学識経験者、沿川自治体など様々な関係者が参加する「淀川河川公園地域協議会」を平成 22 年 3 月よりブロック毎に設置し、公園計画、整備及び管理の検討を進めています。

このたび、大阪府枚方市、寝屋川市(木屋元・太間・点野野草・仁和寺野草地区)及び守口市域に位置する淀川河川公園及びその予定区域を対象とした淀川河川公園中流左岸域地域協議会において、各公園地区に関する、より地域に密着したご意見を伺うため、「淀川河川公園地区会議」の開催を決定し、多様な主体に参加していただくためのメンバー候補を選定しました。

■木屋元・太間・点野野草・仁和寺野草地区 地区会議の開催概要

木屋元・太間・点野野草・仁和寺野草地区において平成 23 年 12 月 11 日に地区会議を開催しました。当日は 13 名の利用団体、地域住民等の方々にご参加いただきました。

開催日時:平成 23 年 12 月 11 日(日) 13:30~16:30 場所:太間公民館

プログラム

1. 開会

- ・地区会議の目的と進め方
- ・淀川河川公園基本計画の概要

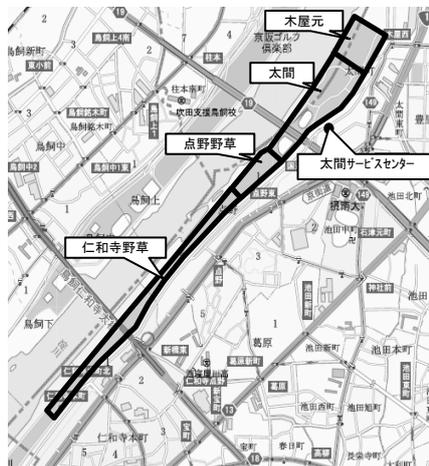
2. 公園歩き

3. 意見交換

- ・グループ別意見交換
- ・各グループからの発表

4. 今後の予定等

5. 閉会



茨田堤(まんだづつみ)の石碑
仁徳天皇がつくったとされる堤防

木屋元・太間・点野野草・仁和寺野草地区の概要

◆開設年度

木屋元地区	昭和 49 年度
太間地区	平成 48 年度
点野野草地区	平成 53 年度
仁和寺野草地区	平成 54 年度

◆年間利用者数

平成 22 年度年間利用者数	
木屋元地区	173,228 人
太間地区	365,565 人
点野野草地区	39,531 人
仁和寺野草地区	272,173 人

◆供用面積

木屋元地区	5.6ha
太間地区	11.7ha
点野野草地区	3.6ha
仁和寺野草地区	8.9ha

「日本書紀」によると 4~5 世紀の頃、淀川は北の川または山城川と呼ばれていました。琵琶湖の水位が上昇すると淀川はすぐに増水し、たびたび水害が発生しました。そこで、仁徳天皇は堤防を築いて洪水を防ぎ、農地を守ろうと考えたそうです。

大変な難工事の末、仁徳 11 年に日本最古とされる堤が完成しました。

この堤は地名をとって「茨田堤」と呼ばれ、2ヶ所の切れ目は「絶間(たえま)」と人々に称されました。後世になって「絶間」がなまって現在の地名「太間(たいま)」になったといわれています。

(出典:「淀川かわあるき」)

■ 地区会議の参加団体

団体名		地域住民
利用団体等		
摂南大学澤井ゼミ、石田ゼミ、エコシビル部 淀川管内河川レンジャー 寝屋川市ラグビーフットボール協会 ねや川水辺クラブ 水辺に親しむ会	茨田樋イチョウまつり実行委員会 NPO 法人寝屋川市スポーツ振興連盟 施設管理委員会 ふれあいプラザ香里世話人会 淀川愛好会	仁和寺自治会

■ 地区会議の流れ

1
基本的情報の説明



2
公園歩き



3
グループ別意見交換
(ワークショップ形式)



4
各グループからの意見発表

■ 地区会議で出された意見について

木屋元・太間・点野野草・仁和寺野草地区 地区会議では参加者の皆様から多くのご意見をいただきました。すべてのご意見について事務局で対応を検討し、次回の中流左岸地域協議会に報告します。



Aグループの意見交換の結果



Bグループの意見交換の結果

【お問い合わせ先】

近畿地方整備局 淀川河川事務所 河川公園課
 〒573-1191 大阪府枚方市新町2丁目2番10号
 TEL:072-843-2861(代) FAX:072-843-0910 E-mail: yodogawa-kouen@kkr.mlit.go.jp

平成23年度 淀川河川公園 中流左岸地域協議会

木屋元・太間・点野野草・仁和寺野草地区 地区会議 平成23年10月19日開催分

平成 23 年度

淀川河川公園 佐太西・大日地区 地区会議 会議録

平成 23 年 12 月 1 日開催分

■地区会議とは

1. 目的

淀川河川公園の地区毎に、各公園地区の利用団体、地域住民、まちづくり団体など、様々な関係者の方々よりご意見を伺い、今後の公園の整備・維持管理に反映するため、淀川河川公園地区会議を開催しました。

2. 経緯

淀川河川公園では、淀川における自然環境や人との関わりを次世代に引き継ぐための公園づくりを目指し、「淀川河川公園基本計画」を平成 20 年に改定しました。

今後の公園づくりでは、地域に親しまれ、淀川と人とのつながりをより深めるため、地域住民、利用者、学識経験者、沿川自治体など様々な関係者が参加する「淀川河川公園地域協議会」を平成 22 年 3 月よりブロック毎に設置し、公園計画、整備及び管理の検討を進めています。

このたび、大阪府枚方市、寝屋川市及び守口市域(大日地区、佐太西地区)に位置する淀川河川公園及びその予定区域を対象とした淀川河川公園中流左岸地域協議会において、各公園地区に関する、より地域に密着したご意見を伺うため、「淀川河川公園地区会議」の開催を決定し、多様な主体に参加していただくためのメンバー候補を選定しました。

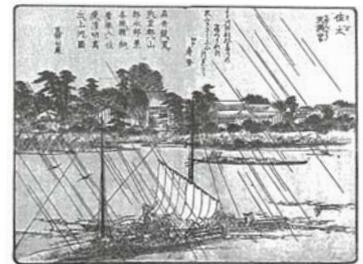
■佐太西・大日地区 地区会議の開催概要

佐太西・大日地区において平成 23 年 12 月 1 日に地区会議を開催しました。当日は 9 名の利用団体、地域住民等の方々にご参加いただきました。

開催日時:平成 23 年 12 月 1 日(木) 13:30~16:30 場所:守口市生涯学習センター(ムーブ21)研修室

プログラム

1. 開会
 - ・地区会議の目的と進め方
 - ・淀川河川公園基本計画の概要
2. 公園歩き
3. 意見交換
 - ・グループ別意見交換
 - ・各グループからの発表
4. 今後の予定等
5. 閉会



佐太西・大日地区の概要

◆開設年度	
佐太西地区	昭和 53 年度
大日地区	平成 5 年度
◆供用面積	
佐太西地区	8.0ha
大日地区	3.7ha
◆年間利用者数	
平成 22 年度年間利用者数	
佐太西地区	231,392 人
大日地区	109,073 人



佐太天神宮

都からの「佐太」を持った道真

佐太天神宮は、菅原道真が大宰府へ流される途中、しばらく舟を繋いだところで、菅公の死後、天暦年間(947~57 年)に菅公を慕って祠を建てたのが創建と伝えられます。

佐太は、枚方宿と守口宿の中間地点に位置しており、江戸時代には間宿(あいしゃく)として栄え、佐太天神宮前の天神浜は、佐太の渡し場であり、年貢米の積み出し場となっていたそうです。

(出典:「淀川かわあるき」)

■ 地区会議の参加団体

利用団体等	団体名	
	地域住民	自治体
淀川管内河川レンジャー 淀川愛好会 ねや川水辺クラブ	佐太二番連合町会 大日町連合会 佐太五番連合町会 佐太一番連合町会	守口市都市整備部 公園課

■ 地区会議の流れ

1
基本的情報
の説明



2
公園歩き



3
グループ別
意見交換
(ワークショップ形式)

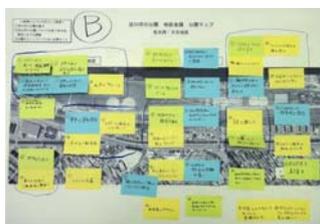
4
各グループ
からの
意見発表

■ 地区会議で出された意見について

佐太西・大日地区 地区会議では参加者の皆様から多くのご意見をいただきました。すべてのご意見について事務局で対応を検討し、次回の中流左岸地域協議会に報告します。



Aグループの意見交換の結果



Bグループの意見交換の結果

【お問い合わせ先】

近畿地方整備局 淀川河川事務所 河川公園課
〒573-1191 大阪府枚方市新町2丁目2番10号
TEL:072-843-2861(代) FAX:072-843-0910 E-mail: yodogawa-kouen@kkr.mlit.go.jp

平成23年度 淀川河川公園 中流左岸地域協議会

佐太西・大日地区地区会議 平成23年12月1日開催分